

雨水や海水を飲める水に！ 世界初トランク型 高性能浄化装置



ニューメディカ・テック株式会社

ナノレベルの不純物も浄化

以前、水質分析会社のS.Eだったため、水に関しては誰よりも詳しい知識を持つ前田芳聰氏が起業したニューメディカ・テック。当初は、日本で地下水を飲料用に使っている地域に対し、浄水器を開発・販売していた。「湧き水はきれいに見えますが、実は多くの汚染物質を含んでいます。水質基準が不適当な水を飲んでおられる地域の方が、逆浸透膜の浄水器を使えば助かるのではないかと思いました」と前田社長。逆浸透膜とは、水分子は通すが塩類等水以外の不純物は透過しない性質を持つ膜のことである。

同社は宇宙航空研究開発機構と共同研究を行い、国際宇宙ステーションで発生する水を浄化し、安全な飲料水にする研究にも取り組んでいる。その高い技術は、製品にも生かされ、0・1nm（1000万分の1mm）の細かな目の逆浸透膜を使用。これ以上小さな有害物質はないため、水に混入した分子レベルの不純物も取り除くことができる。しかも同社の浄水器は、

浄水後にミネラルを添加する。安全なだけでなく、おいしい水を提供してくれるのだ。

河川の水を飲料用に浄水 画期的な災害用浄水器

その後、同社は家庭用浄水器だけでなく災害用浄水器の開発に着手。これは、トランクに全ての機能を詰めて移動ができるもので、災害時に給水車が入れない所でも持ち込める。しかも、プールや風呂水、川の水や海水までも真水にしてしまうという。同社の調査によると、飲料水としては不適合とされる河川の水を浄化し、全ての検査項目をクリアした。

「この装置は、小型発電機や車のバッテリー等で稼動しますので、災害時に電気の復旧を待たずに水の確保ができます。操作は誰でも簡単にできる設計なので、人手が足りない状況にも対応できます」と前田社長。地域防災計画によると、災害時の飲料水として大人ひとり、1日

最小限3ℓの水を確保するよう定められている。これを自治体がペットボトル等で準備すると場所や費用がかかるだけでなく、やがては廃棄処分となるが、同機は場所を取らずコストの削減が可能。1台1時間で41・7ℓ（1日で333人分）の給水ができる。そのため、助成金補助の対象となり、自治体やマンションへの設置が増えているという。

また中小企業庁のBCP（自然災害や新型インフルエンザ流行の際に、事業や従業員や顧客を守るための対策）において、事前対策の一例としても取り上げられており、今後世界的な感染が懸念される新型インフルエンザに対しても有効だと前田社長は言う。

「ウイルスを殺すには塩素が一番有効だが、水道水には有機物を含むため結合塩素になり、殺菌効果は期待できない。当社の浄水器は、有機物を除去した上に飲料水に必要なとされる塩素（0・2mp/ℓ）が投入済みで、さらに濃い塩素を注入すれば高い殺菌効果が得られる」。ウイルス発生時に噴霧すれば、感染防止に役立つというわけだ。今後は世界規模での活躍が期待される。

主な事業内容

透膜浄水器・業務用逆浸透膜浄水器・災害用逆浸透膜浄水器・水質検査装置・細菌検査装置・各種高度浄化システム等
製造・販売

※トランク型浄水装置は塩分2000ppm（雨水、河川水）まで除去可能。モータータイプは海水まで（海水、湖水、河川水）雨水の全水域の水を真水にすることが可能。



前田芳聰さん
代表取締役

ニューメディカ・テック株式会社

Company Profile

住所 / 〒564-0052
大阪府吹田市広芝町12-25
クオレビル1F

設立 / 平成7年4月
資本金 / 1億7,400万円から現在見直し中
従業員 / 10名（平成21年1月現在）
TEL / 06-6380-6771
FAX / 06-6337-5351

ISO 9001
ISO 14001

日本 19

全国 20

関西 20

大阪 13

<http://www.nmt.or.jp/>